

DCNM-LPUP-S1Y 参加者アルティメットプロフェッショナルサブスクリプション



DCNM-LPUP-S1Y は、参加者にアルティメット機能パックの利用を許可する、参加者ベースの年間サブスクリプションライセンスプランです。

高度な投票機能と通話機能を有効にできるフル装備の機能セットに加え、複数の識別オプションが含まれています。参加者は、会議デバイスの拡張機能として参加者アプリケーションを使用して、発言リクエストや投票などの重要な機能を制御したり、会議に関連するマルチメディアコンテンツにアクセスしたりできます。

会議マネージャーは、強力な DICENTIS 統合ソフトウェアを使用して、簡単かつ効果的に会議の準備と管理を行うことができます。

追加のライセンスを注文して、会議に参加できる最大参加者数を追加できます。

このライセンスセットアップを使用するシステムに対し、1人の参加者がリモートから参加できます。¹

ライセンスは、キャンセルされるまで毎年自動的に延長されます。定期的なソフトウェアアップデートが含まれています。

機能

参加者

会議デバイスでは、参加者は次の操作を行うことができます。

- 身分証明書を使用した出席登録
- ログイン時の優先ヘッドフォン言語の自動選択
- ログイン時の優先ユーザーインターフェイス言語の自動選択
- 発言リクエストの発行（発言権がある場合）
- 投票ラウンドへの参加（議決権がある場合）
- VIP 権限がある場合の待機リストの回避
- 優先権がある場合（議長など）の優先発言

- ▶ 参加者ベースの年間サブスクリプション
- ▶ 投票、通話、参加者アプリケーションへの標準アクセスのための究極の機能パック
- ▶ 会議マネージャーは簡単かつ効果的な会議の準備と管理が可能
- ▶ 参加者 1 人の会議へのリモート参加¹
- ▶ 定期的なソフトウェア更新による最適な信頼性、パフォーマンス、セキュリティ

- 1人の参加者がこのライセンスに対応するシステムにリモートから参加できます¹。ハイブリッドアドオンライセンスを追加して、リモート参加者数を増やすことができます。参加者ライセンスの数で会議に参加できる参加者の数が決まり、ハイブリッドアドオンライセンスの数と参加者ライセンスセットに含まれるライセンス数でリモート参加できる参加者の数が決まります

参加者アプリケーションを使用では、参加者は次のことができます。

- ユーザー名とパスワード、PIN、またはDICENTISディスプレイデバイスを使用した簡単なログイン
- ログイン時にユーザーインターフェイス言語を選択
- アクティブな発言者のライブビデオの表示
- 発言リクエストの発行
- リアルタイムの投票
- 投票結果の表示
- 出席している参加者と欠席している参加者のリストの表示
- 議題トピックの表示
- 議題に関連するドキュメントやファイルの起動
- 受信したプレゼンテーションストリームの表示

参加者アプリケーションの詳細については、製品カタログのDCNM-LPAPP-PE参加者アプリケーション永続版のデータシートを参照してください。

会議マネージャー：会議の準備

会議の準備に関して、会議マネージャーは次の機能を利用できます。

- 優先 UI とヘッドフォン言語を使用したプロファイルの作成
- 会議のための以下の準備：

- 議題
- ID モード
- 定数設定
- 文書管理システム (DMS) に保存されている文書の参照
- 会議参加者への以下の項目の割り当て:
 - 議論権、VIP 権、優先権
 - 加重議決権と通常議決権
 - 優先座席
- 議題の要求リストの準備
- 議題ごとのディスカッションモードの設定サポートされているディスカッションモードは以下のとおりです。
 - オープン (自動)
 - オープン (手動)
 - 返答
 - ファーストインファーストアウト
 - ボイスアクティベーション (このモードにはカメラ制御オプション付き)
 - 最大 25 個のマイクを同時に開くことができます
 - 最大 200 人の参加者が待機リストに登録できます。
 - 最大 200 人の参加者が返答待機リストに登録できます
 - 30 秒間沈黙が続くと、マイクは自動的にオフになります
 - スピーチタイマーの設定により、スピーチ時間を均等に配分し、会議の効果を高めることができます
 - 待機リスト表示の設定により、待機リストを参加者に表示するかどうかを切り替えられます
- デフォルトの投票設定の構成:
 - 回答セット
 - 多数設定
 - ディスプレイ設定
 - 個人 / グループ別の結果
 - 総合結果
- さまざまな投票設定を使用した会議ごとの投票ラウンドの準備:
 - 番号、案件の説明、および文書または Web サイトへの直接リンク
 - 回答セット
 - 多数設定
 - ディスプレイ設定
 - 個人 / グループ別の結果
 - 総合結果
- 会議ごとの言語設定と通訳設定の定義:
 - 設定のインターロックとオーバーライド
 - スピークスロー機能
 - 構成可能な通訳デスクのボタン

- 通訳者のヘッドフォンまたはヘッドセット

会議マネージャー: 会議の管理

会議の管理に関して、会議マネージャーは次の機能を利用できます。

- 会議アプリケーションを使用した会議と議題の管理
- 会議アプリケーションを使用した、投票ラウンドの管理および各投票の参照番号、案件名、説明の定義
- 準備投票ラウンドの管理
- 会議アプリケーション、または DICENTIS Web サーバーのシノプティックコントロールにある設定可能なシノプティックレイアウトを使用した議事の管理
- 通訳の管理:
 - 各ブースとデスクについて、元の言語と通訳後の言語を表示
 - マイクをオフにしたり、さまざまな出力言語を切り替えたりすることで、通訳者をサポート
 - スピークスロー通知の受信

会議マネージャー: 会議結果の処理

結果の処理に関して、会議マネージャーは次の機能を利用できます。

- 個別のファイルとして保存された投票結果へのアクセス
- 出席状況と投票結果を含む会議レポートへのアクセス。会議レポートと投票ラウンド結果には、改ざん検知のための情報が含まれています

通訳者

通訳者は次の機能を利用できます。

- フロア言語から、DICENTIS システムでサポートされている 100 言語のうちの 1 言語への通訳
- 別の通訳言語から、DICENTIS システムでサポートされている 100 言語のうちの 1 言語への通訳
- 最適なオーディオと聴覚保護のための、適切なヘッドフォンまたはヘッドセットの選
- 優先入力言語の構成
- 補助ボタンの設定:
 - スピークスロー機能
 - ヘッドフォンの選択
 - 時計とタイマー
 - 言語の概要
 - プレゼンテーションとビデオモード
- スピークスローリクエストの発行

技術者

技術者は次の機能を利用できます。

- 以下のオーディオ設定の構成:
 - 2 つのアナログ入出力
 - 2 つの Dante 入出力
 - 2 つの OMNEO 入出力
 - 拡声イコライザー
 - デレゲート装置のスピーカーイコライザー

- デレゲートスピーカーのオーディオの構成
- 座席の構成:
 - 発言リクエスト権
 - 優先権
 - VIP 権
 - 投票権
 - ID
 - 言語選択
 - 参加者 2 人での利用
- 通訳デスクを使用した通訳席の構成:
 - ブースへの座席の割り当て
 - デスクへの言語の割り当て
- 会議アプリケーションを使用した通訳者設定の構成:
 - ブースとデスク
 - 設定のインターロックとオーバーライド
 - 自動リレー設定
 - 出力言語
 - スピークスロー
 - 通訳デスクのボタン
 - 通訳者のヘッドフォンまたはヘッドセット
- マイク制御用のシノプティックレイアウトの構成
- 会議、議題、投票、ディスカッションの情報を表示するホールディスプレイのレイアウトの構成
- ビデオ出力を備えたホールディスプレイ、マルチメディア装置、通訳デスクでのプレゼンテーション共有設定
- ホールディスプレイにアクティブな発言者を表示するためのカメラとビデオの切り替え設定

ホールディスプレイ

ホールディスプレイは次の用途に使用できます。

- ONVIF、Panasonic、Sony のカメラを制御して 1 人または複数のアクティブな発言者を画像キャプチャ
- TvOne CorioMatrix および Kramer MV6 SDI ビデオスイッチャーを制御して 1 人の発言者を表示
- 名前オーバーレイ、分割画面、ピクチャーインピクチャー、モザイクなどの拡張ビデオ処理を使用して IP ビデオベースのビデオマトリックスを制御し、1 人または複数の発言者を表示
- 会議と議題に関する情報を表示
- 定数を含む出席情報を表示
- 投票情報、過半数結果、個別結果、合計結果を表示

サードパーティーシステム

サードパーティーシステムは、次の用途に使用できます。

- .NET API を使用して会議を準備および制御
- WebSocket ベースの会議プロトコルを使用して会議を制御

注記: .NET API と会議プロトコルは、ドキュメントとデモアプリケーション（実装と検証を支援するソースコードを含む）によってサポートされています。AMX および Extron 用のドライバーが利用可能です。

リモート通訳

リモート通訳機能:

- 通訳者が会議室にいるのと同様の言語サービスを提供するリモート通訳システムを有効にするインターフェイスです。
注記: このインターフェイスは、.NET API および WebSocket ベースの会議プロトコルとして利用できます。
- ブースとデスクの情報のサポート
- 元の言語と通訳言語のサポート
- オートリレー機能のサポート
- スロースピーク機能のサポート

付属部品

数量	コンポーネント
1	電子メールでライセンスの有効化情報を配信。

技術仕様

ライセンスの終了日	毎年 - キャンセルされるまで自動的に更新されます
ソフトウェアメンテナンスアップデート	同梱
ハイブリッド会議 ¹	参加者 1 名
参加者アプリケーションの使用	同梱

1 - ハイブリッド会議は一部の国でのみ利用可能です。データ保護契約に同意した場合のみ有効となります。詳細については、最寄りの販売店にお問い合わせください。

システム要件

このセクションでは、システム各部の最小要件を一覧で示します。

DICENTIS システムでサービスを実行するコンピューターの最小 PC 要件は次のとおりです。

オペレーティングシステム	Windows Server 2022
CPU マーク	10000以上
RAM	16 GB
空きディスク容量	50 GB
イーサネットカード	DICENTIS ネットワーク用に 1 GB インターネット接続用に 1 GB

注: プロセッサのパワーは、CPU マークのスコアによって測定されます。これは、プロセッサファミリーのみで測定するよりもベンチマークスコアの信頼性が向上するためです。

- 多くのさまざまなプロセッサブランドおよびファミリーを利用可能
- ノート PC 用のプロセッサはデスクトップ用のプロセッサほど強力ではないが、どちらも i7 などに行える
- 同じプロセッサでも、新しいバージョンは古いバージョンより高速

プロセッサの CPU マークスコアを確認するには、次を実行します。

1. https://www.cpubenchmark.net/CPU_mega_page.html にアクセスします
2. [CPU Name (CPU 名)] テキストボックスにプロセッサ (例: i7-12700) を入力します
3. [CPU Mark (CPU マーク)] 列で CPU マークスコアを確認します (例: i7-12700 のスコアは 31114) または、[CPU Name (CPU 名)] テキストボックスをクリアし、[CPU Mark (CPU マーク)] 列を並べ替えて、特定のスコア (7000 など) を超えるプロセッサを確認することもできます。

オーダー情報

DCNM-LPUP-S1Y 参加者アルティメットプロフェッショナルサブスクリプション

非ハイブリッド会議とハイブリッド会議用の識別機能および投票 / 通訳の拡張機能を提供する、参加者ベースの自動延長サブスクリプション。

オーダー番号 **DCNM-LPUP-S1Y | F.01U.998.501**

ソフトウェアオプション

DCNM-LDANTE 1 Dante ストリーム用ライセンス

Dante マルチキャストオーディオストリームの送受信を可能にするソフトウェアライセンスです。

オーダー番号 **DCNM-LDANTE | F.01U.354.449**



<https://www.boschsecurity.com>